

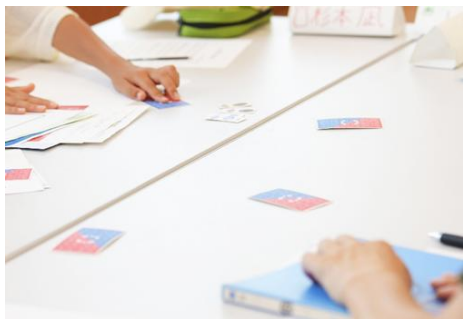
令和7年度とっとり県民カレッジ講座（市町村連携）

地域をつなぐ「ゲームで学ぶ防災」

主催：鳥取県教育文化財団 県民ふれあい会館

共催：西部地区社会教育担当者研究協議会

9月27日（土）13:00～16:30に、大山町の「大山町保健福祉センターなわ」で開催。講演の講師は、防災・安心プランナーの柳原志保さん。「みんなが主役！つながるぼうさい」と題して講演いただきました。東日本大震災、熊本地震、熊本豪雨という3度の大きな災害を経験された柳原さん。実体験に基づいた話と歌やゲームも交えた体験型講演で参加者は楽しみながら防災を学ぶことができました。後半は、シミュレーションゲームで風水害24を参加者全員で体験。講師の洋谷友子さんから説明を受けながら、2つの町にわかれて「自分の命を守ること」「可能な範囲で人を助けること」を目標に避難しました。実際に災害がおこったときにどう行動するか、みんなで共有することができました。



体験型講演 講師の柳原さん

参加者の声

- 歌もお話も上手で胸を打ちました。
- 災害を自分ごととしてかんがえるのにとってもよい機会になりました。
- 中学生のしっかりした意見をきけて感心しました。
- 避難するときは、避難所の場所やどう逃げるかを前もって頭に入れておくことが大切。
- とてもリアルな体験ができました。ハザードマップの大切さがわかりました。
- 周囲の方々とコミュニケーションをとりながら学びました。



シミュレーションゲーム 講師の洋谷さん